

# 標準的な接種スケジュール例

令和5年4月1日現在

☐:公費助成で接種できる期間

■:日本小児科学会推奨接種期間

▼:標準的な接種時期

●:通知送付時期

ワクチンの種類		接種回数 接種済み☑	0 か月	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	
公費助成で接種できる年齢																															
ヒブ 2か月～5歳に至るまで		4回 □□□□			▼	▼	▼								追 ▼																
小児用肺炎球菌 2か月～5歳に至るまで		4回 □□□□			▼	▼	▼								追 ▼																
BCG 1歳に至るまで		1回 □						▼																							
B型肝炎 1歳に至るまで		3回 □□□			▼	▼					▼																				
ロタウイルス	ロタリックス (1価) 6週～24週	2回 □□			▼	▼																									
	ロタテック (5価) 6週～32週	3回 □□□			▼	▼	▼																								
四種混合 2か月～7歳半に至るまで		4回 □□□□			▼	▼	▼								追 ▼																
二種混合 11歳以上13歳未満		1回 □																													
麻しん風しん混合 (1期) 1歳～2歳に至るまで (2期) 小学校就学前1年間		2回 □□													(1期) ▼																
水痘 1歳～3歳に至るまで		2回 □□													▼	▼															
日本脳炎 (1期) 6か月～7歳半に至るまで (2期) 9歳以上13歳未満		4回 □□□□																													
HPV 小学6年生～ 高校1年生 ※女性のみ	サーバリックス® (2価)	3回 □□□																													
	ガーダシル® (4価)	3回 □□□																													
	シルガード®9 (9価) ※1回目の接種時期により接種回数が異なる	2回 □□ または 3回 □□□																													

生後2～7か月に接種開始した場合の接種例です。接種開始時期によって回数と間隔が異なります。詳細は「ヒブワクチン接種フローチャート」、「小児用肺炎球菌ワクチン接種フローチャート」をご確認ください。



・原則として、初回接種は生後14週6日までにいきます。15週以降の初回接種は、腸重積症の好発年齢と重なるためお勧めしていません。  
・原則として、途中からワクチンの変更はせず、最初に接種したワクチンを続けて

平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。

平成9年4月2日から平成20年4月1日の間に生まれた方は、未接種分を令和7年3月31日まで公費で接種することができます。



出生届の際に必要な書類をお渡ししています。